

橋梁の包括管理委託・予防保全型管理の提案

■インフラの維持管理・修繕等に係る官民連携事業の導入検討  
□官民連携グリーンチャレンジモデル

①提案によって解決する自治体の課題のイメージ

解決したい課題

老朽化による対応が必要な橋梁の急激な増加。橋梁の維持・更新・長寿命化等に対応するために必要な自治体・地元企業のリソース不足

想定する自治体規模

老朽化する交通インフラを多数抱える都道府県ないしは中核市級の自治体

②提案の概要

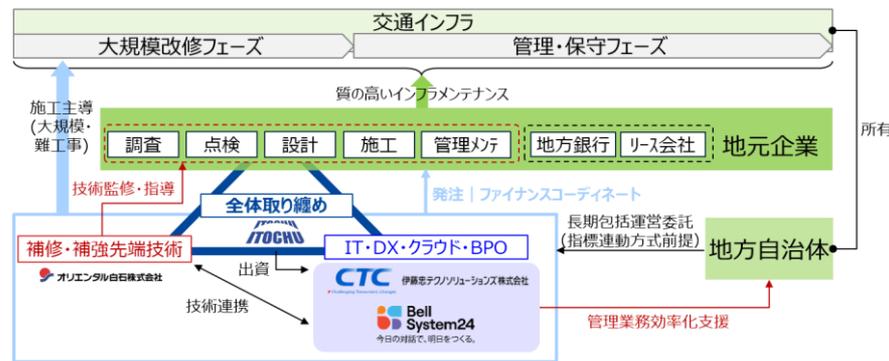
総合商社の広範な事業リソースと橋梁補修補強工事の先端技術の掛け合わせで持続的なインフラマネジメント体制を下支え

提案ポイント

- ① インフラメンテナンスの先端技術供与等によって地元企業の事業成長を支援
- ② 包括委託や予防保全を活用した交通インフラのLCC最適化
- ③ 不動産管理ノウハウやBPO、DX等を活用した管理業務の負担削減



【事業スキーム】



③スキーム（技術）の導入により得られる効果

地方自治体	地元企業・住民
<p>インフラマネジメント：最先端の調査・診断・設計・施工・管理技術の組合せと、民間資金の活用によってLCCを最小化する予防保全的管理に移行。DXやBPOの活用により、資産管理業務の負担も軽減</p> <p>ファイナンス：一時的に発生する纏まった資金負担を民間企業にて立替（延払い）</p>	<p>地元企業：技術の習得やDX化による生産性向上。地元金融機関には投融资機会を創出</p> <p>地元住民：地域を支える交通インフラの安心・安全を維持・向上</p>

本提案による予防保全を行った際のLCCのイメージ

